News Release

2014/1/10

報道関係者各位

株式会社 BCN
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-12-5 内山ビル
TEL 03-3254-7801 FAX 03-3254-7808

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします。
BCN AWARD 2014 実行委員会
E-MAIL:award2014@bcn.co.jp

PC・デジタル家電の販売台数年間 No.1 メーカー決まる
――「BCN AWARD 2014」 受賞社発表
～あわせて「BCN IT ジュニア賞 2014」受賞者を発表～

株式会社 BCN（本社：東京都千代田区、佐藤敏明社長）は 1 月 10 日、全国の主要家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データ集計にもとづいて、2013 年のパソコン関連・デジタル家電商品の部門別年間販売台数累計 No.1 メーカーを表彰する「BCN AWARD 2014」の受賞社を発表した。15 回目を迎える今年は、116 部門で 57 社が受賞した。

【初受賞や新設部門など、受賞社の主な顔ぶれ】

パソコンやその関連製品とソフトウェア、デジタル家電の販売台数年間 No.1 メーカーを決める BCN AWARD。今年で 15 回目の「BCN AWARD 2014」では、ハードウェア 83 部門、ソフトウェア 33 部門の計 116 部門で 57 社が受賞した。各部門での初受賞社は次の通り。ハードウェア部門では Ultrabook 部門でソニー、液晶ディスプレイ部門では LG Electronics Japan、フォトプリンタ部門ではカシオ計算機、スマートフォンアクセサリ部門ではエレコム、PND 部門ではユピテルの 5 社。ソフトウェア部門ではデータ管理ソフト部門で東洋経済新報社、MAP・ナビソフト部門で昭文社、PC ゲームソフト部門ではスクウェア・エニックスの 3 社。

また今回新設した部門と受賞社は以下の通り。「NAS 部門」「LED 電球・蛍光灯部門」「電子ピアノ部門」「電子文具部門」の 4 部門に、「サラウンドシステム部門」を分割し、新たに設定した「ホームシアターシステム部門」「スピーカーシステム部門」「ホームシアターラックシステム部門」「AV アンプ部門」の 4 部門、あわせて 8 部門を新設した。受賞社は、NAS 部門がバッファロー、LED 電球・蛍光灯部門がパナソニック、電子ピアノ部門がヤマハ、電子文具部門がキングジムだった。ホームシアターシステム部門、ホームシアターラックシステム部門はソニー、スピーカーシステムはオンキヨー、AV アンプ部門はヤマハだった。

（そのほか、各部門の受賞社は一覧をご参照ください）

【10 年連続受賞社】

10 年連続で BCN AWARD を受賞したのは下記の通り（7 社 8 部門）。

① キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
（デジタルカメラ（レンズ一体型）部門）
② ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社（デジタルビデオカメラ部門）
③ エレコム株式会社（ゲームコントローラ部門／10 キーボード部門）
④ シャープ株式会社／シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社
（液晶テレビ 40 インチ未満部門）
⑤ パナソニック株式会社（プラズマテレビ部門）
⑥ セイコーエプソン株式会社／エプソン販売株式会社（プロジェクター部門）
⑦ 弥生株式会社（申告ソフト部門）

【15 年連続受賞社】

15 年連続で BCN AWARD を受賞したのは下記の通り（7 社 14 部門）

① 株式会社バッファロー（内蔵ハードディスクドライブ部門／LAN カード部門）
② クリエイティブメディア株式会社（サウンド関連ボード部門）
③ 株式会社ワコム（ペンタブレット部門）
④ 株式会社ジャストシステム（FEP ソフト部門／ワープロ・エディタソフト部門）
⑤ 弥生株式会社（業務ソフト部門）
⑥ 株式会社筆まめ（葉書・毛筆ソフト部門）
⑦ 日本マイクロソフト株式会社
（OS 部門／プログラミングソフト部門／統合ソフト部門／データベースソフト部門／表計算・グラフソフト部門／プレゼンテーションソフト部門）

【「BCN AWARD 2014」表彰式開催概要】

今回の受賞社のトップをお招きし、表彰式も開催します。メディア各社様の取材も可能ですので、
ぜひ取材いただきますようお願いたします。
開催日時：2014 年 1 月 17 日（金）15：00～17：00（開場 14：30）
開催場所：大手町サンケイプラザ　4F ホール（東京都千代田区大手町 1-7-2 ）

＜BCN AWARD とは＞

「BCN AWARD」は、全国の主要な家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データを集計する BCN が、そのデータをもとに年間（1 月 1 日～12 月 31 日）販売台数累計第 1 位のメーカーを表彰する制度です。「BCN AWARD 2014」の集計対象は、23 社／2,431 店舗です (※)。受賞社の決定にあたっては、5 名の有識者からなる認証委員会を設置し、委員会の認証を経る公正な評価システムを導入しています。

※集計対象社は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしています。また、店舗数は新規出店/統廃合などにより若干変動いたします。

＜実売データ提供販売店＞

アベルネット、アマゾン ジャパン、エディオン、NTT レゾナント、大塚商会、ケーズホールディングス、ドスパラ、サンキュー、上新電機、スタート、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ナニワ商会、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、三星カメラ、ムラウチドットコム、MOA、ユニットコム、ラオックス、楽天（楽天ブックス）（50 音順）

＜「BCN AWARD 2014」後援団体＞

公益財団法人 日本生産性本部
一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会

BCN AWARD 2014 受賞社一覧

＜ハードウェア部門83部門37社＞

	部門名	受賞社	受賞回数
	デスクトップPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	5年連続11回目
	ノートPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	3年連続7回目
	Ultrabook部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	初受賞
	タブレット端末部門	Apple Japan合同会社	3年連続3回目
	タブレット端末アクセサリ部門	エレコム株式会社	3年連続3回目
	液晶ディスプレイ部門	LG Electronics Japan株式会社	初受賞
	インクジェットプリンタ部門	セイコーエプソン株式会社／エプソン販売株式会社	3年連続10回目
	ページプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	4年連続13回目
	サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	9年連続9回目
	複合プリンタ部門	セイコーエプソン株式会社／エプソン販売株式会社	3年連続10回目
	フォトプリンタ部門	カシオ計算機株式会社	初受賞
	外付けハードディスクドライブ部門	株式会社バッファロー	6年連続11回目
	内蔵ハードディスクドライブ部門	株式会社バッファロー	15年連続15回目
新設	NAS部門	株式会社バッファロー	初受賞
	記録型DVDドライブ部門	株式会社バッファロー	6年連続6回目
	SSD部門	インテル株式会社	2年連続3回目
	メモリ部門	シー・エフ・デー販売株式会社	3年連続3回目
	マザーボード部門	ASUS JAPAN株式会社	9年連続11回目
	メモリカード部門	サンディスク株式会社	5回目
	USB部門	エレコム株式会社	14年連続14回目
	カードリーダ部門	エレコム株式会社	4年連続5回目
	拡張インターフェース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	5年連続5回目
	USBメモリ部門	エレコム株式会社	2年連続2回目
	KVM切替器部門	サンワサプライ株式会社	2回目
	PCケース部門	Zalman Tech Co.,Ltd.／株式会社アスク	2年連続2回目
	ベアボーン部門	日本Shuttle株式会社	7年連続7回目
	PC電源部門	シー・エフ・デー販売株式会社	3年連続3回目
	ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	4年連続6回目
	スピーカー部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	3年連続3回目
	DTM関連機器部門	株式会社コルグ	3年連続3回目
	映像関連ボード部門	株式会社アイ・オー・データ機器	11年連続13回目
	サウンド関連ボード部門	クリエイティブメディア株式会社	15年連続15回目
	グラフィックボード部門	シー・エフ・デー販売株式会社	11年連続11回目
新設	ホームシアターシステム部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	初受賞
新設	スピーカーシステム部門	オンキヨー株式会社／オンキヨーマーケティングジャパン株式会社	初受賞
新設	ホームシアターラックシステム部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	初受賞
新設	AVアンプ部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	初受賞
	ヘッドセット部門	エレコム株式会社	3年連続3回目
	ヘッドホン・イヤホン部門	株式会社オーディオテクニカ	5年連続5回目
	携帯オーディオ部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	3年連続3回目
	携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	7年連続7回目
	ICレコーダー部門	オリンパスイメージング株式会社	8年連続8回目
新設	電子ピアノ部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	初受賞
	プリントサーバ部門	株式会社バッファロー	14年連続14回目
	LANカード部門	株式会社バッファロー	15年連続15回目
	HUB部門	株式会社バッファロー	13年連続14回目
	ルータ部門	株式会社バッファロー	11年連続12回目
	無線LAN部門	株式会社バッファロー	12年連続12回目
	PLC部門	パナソニック株式会社	6年連続6回目
	UPS部門	シュナイダーエレクトリック株式会社	6年連続6回目
	スキャナ部門	株式会社PFU	4年連続4回目

	部門名	受賞社	受賞回数
	デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	10年連続10回目
	デジタルカメラ(一眼レフ)部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	6年連続8回目
	デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門	オリンパスイメージング株式会社	3年連続3回目
	デジタルビデオカメラ部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	10年連続10回目
	デジタルフォトフレーム部門	華為技術日本株式会社(ファーウェイ・ジャパン)	2年連続2回目
	交換レンズ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	5年連続5回目
	三脚・一脚部門	スリック株式会社	3年連続3回目
	カメラケース・バッグ部門	エレコム株式会社	2年連続2回目
	PCカメラ部門	株式会社ロジクール	6回目
	マウス部門	エレコム株式会社	14年連続14回目
	キーボード部門	株式会社ロジクール	2年連続2回目
	ゲームコントローラ部門	エレコム株式会社	10年連続10回目
	10キーボード部門	エレコム株式会社	10年連続10回目
	ペンタブレット部門	株式会社ワコム	15年連続15回目
	スマートフォン部門	Apple Japan合同会社	3年連続3回目
	スマートフォンアクセサリ部門	エレコム株式会社	初受賞
	電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	9年連続9回目
新設	電子文具部門	株式会社キングジム	初受賞
	CDメディア部門	イメーション株式会社	5年連続5回目
	DVDメディア部門	日立マクセル株式会社	2年連続6回目
	BDメディア部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	2回目
	液晶テレビ(40インチ以上)部門	シャープ株式会社／シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社	9年連続9回目
	液晶テレビ(40インチ未満)部門	シャープ株式会社／シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社	10年連続10回目
	プラズマテレビ部門	パナソニック株式会社	10年連続10回目
	デジタルチューナー部門	株式会社アイ・オー・データ機器	2年連続2回目
	DVDレコーダー部門	DXアンテナ株式会社	2年連続2回目
	BDレコーダー部門	パナソニック株式会社	3年連続4回目
	DVDプレーヤー部門	パイオニア株式会社／パイオニアホームエレクトロニクス株式会社	3年連続3回目
	BDプレーヤー部門	パイオニア株式会社／パイオニアホームエレクトロニクス株式会社	3年連続3回目
	プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社／エプソン販売株式会社	10年連続10回目
	PND部門	株式会社ユピテル	初受賞
新設	LED電球・蛍光灯部門	パナソニック株式会社	初受賞

＜ソフトウェア部門33部門20社＞

部門名	受賞社	受賞回数
OS部門	日本マイクロソフト株式会社	15年連続15回目
プログラミングソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	15年連続15回目
統合ソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	15年連続15回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	15年連続15回目
FEPソフト部門	株式会社ジャストシステム	15年連続15回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	11年連続11回目
データベースソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	15年連続15回目
表計算・グラフソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	15年連続15回目
データ管理ソフト部門	株式会社東洋経済新報社	初受賞
MAP・ナビソフト部門	株式会社昭文社	初受賞
セキュリティソフト部門	トレンドマイクロ株式会社	6年連続6回目
プレゼンテーションソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	15年連続15回目
グラフィックスソフト部門	アドビ システムズ株式会社	11年連続14回目
ビデオ関連ソフト部門	株式会社イーフロンティア	2年連続2回目*
画像処理ソフト部門	アドビ システムズ株式会社	12年連続12回目
サウンド関連ソフト部門	クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	7年連続7回目
LAN・インターネットソフト部門	株式会社ジャストシステム	6年連続6回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	15年連続15回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	14年連続14回目
CADソフト部門	オートデスク株式会社	3年連続8回目
申告ソフト部門	弥生株式会社	10年連続10回目
システムメンテナンスソフト部門	AOSテクノロジーズ株式会社	5年連続5回目
ユーティリティソフト部門	株式会社ジャストシステム	4年連続4回目
携帯電話ソフト部門	ソースネクスト株式会社	2年連続12回目
教育・学習ソフト部門	株式会社がくげい	2年連続3回目
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	13年連続14回目
テンプレートソフト部門	株式会社コーパス	3年連続3回目
フォントソフト部門	ダイナコムウェア株式会社	14年連続14回目
クリップアートソフト部門	株式会社データクラフト	11年連続11回目
葉書・毛筆ソフト部門	株式会社筆まめ	15年連続15回目
ホームソフト部門	テクニカルソフト株式会社	5年連続5回目
DTPソフト部門	株式会社筆まめ	5年連続5回目
PCゲームソフト部門	株式会社スクウェア・エニックス	初受賞

*「BCN AWARD 2013」のビデオ関連ソフト部門は、株式会社イーフロンティアとコーレル株式会社の合同受賞

＜「BCN IT ジュニア賞 2014」＞

株式会社 BCN は、技術立国日本の次代を担う若い世代にものづくりの情熱を伝え、IT 産業に一人でも多くの優秀な人材を迎えるために、2006 年に「BCN IT ジュニア賞」を創設した。

「BCN IT ジュニア賞」は、特定非営利活動法人 IT ジュニア育成交流協会からの推薦を受け、IT に取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績を収めるなど、すぐれた技術をもつ IT ジュニアの学生を表彰している。今回は、全国の高等専門学校の生徒が参加する「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」、全国の工業高校生を対象とした「高校生ものづくりコンテスト」、「全国高校生プログラミングコンテスト」、そして全国の 20 歳以下の IT エンジニアを対象とした「U-20 プログラミング・コンテスト」などの大会の入賞者から、すぐれた技術をもつ 5 チームと個人 5 名を選出、「BCN AWARD」表彰式の会場で表彰を行う。

「BCN AWARD」と同じステージで、IT 関連メーカーのトップから激励と表彰を受けることで、若者たちにものづくりに取り組む情熱がさらに燃え上がることを期待する。

＜「BCN IT ジュニア賞 2014」受賞チーム・受賞者 ＞

- 国立東京工業高等専門学校　「縁」 ―ゆかりのある子育て― 制作チーム
- 国立鳥羽商船高等専門学校　「すなケッチ！」制作チーム
- 国立鈴鹿工業高等専門学校　「君に届けこの想い」―想いを伝える魔法のサイコロ― 制作チーム
- 北海道札幌国際情報高等学校　数田 直之
- 宮城県工業高等学校　情報研究部　プログラミングコンテストチーム
- 福島県立郡山北工業高等学校　羽生 徹（作品名：Lab アルデ）
- 学校法人灘育英会　灘高等学校　矢倉 大夢（作品名：Arrow Judge）
- 学校法人開成学園　開成高等学校　佐藤 雄太（作品名：Fulyn）
- 学校法人聖学院　聖学院中学校　大谷 孟宏（作品名：JISIN GETTER）
- 宮城県工業高等学校　情報研究部　プロジェクトチーム SAFE
  （作品名：～もしもの時の安心アプリ～　SHelper）

＜協力＞

特定非営利活動法人　IT ジュニア育成交流協会

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。
BCN AWARD 2014 実行委員会　TEL：03-3254-7801　E-MAIL:award2014@bcn.co.jp